

イエス様の御言が私たちの日常に対する非常に具体的な指摘であると知り、その戒めを守るべく努めるようになる
 「なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。ルカ福音書6:41」

10分

ホワイトボード、ペン、木端(視野が確保できる範囲で大きいもの)

小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5

時間	教師から	子供に予想される反応	備考
2分	<p>〇〇君、肩にごみがついているよ。 〇〇ちゃん、ちょっとほこりがついているよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとう ・先生それで良く見えるね ・先生の方がでっかいのついてるでしょ 	<p>テキスト指定の箇所全体では内容が多すぎるので、41節だけから構造案を構築する。 顔に木端をくり付けて教師が登場する。 実際にごみがついている必要はない。 聖書に述べられる梁とチリの対比を実際に演じて、その違和感を体感させたい 演じるとき、教師は自分の木端に気付くそぶりは決してしないこと。</p>
6分	<p>今の先生で、おかしいのはどこでしょう。</p> <p>イエス様は本日の御言で、このことを言っておられるのです。 でも、目の前に梁があったら、誰だっておかしいと思うのではないのでしょうか。 イエス様はいったい私たちに何を気をつけなさいと教えて下さったのでしょうか。</p> <p>こういうことを聞きました。 (妹が兄の本を勝手に取って読んだので兄がとがめたら、妹が兄を「優しくない」と言って泣きながら叩いたので兄が逃げた《実話》)</p> <p>皆は兄と妹についてそれぞれどう思いますか。</p> <p>ではそれぞれがどうしたらいいと思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分はずっとでっかいのがあるのに、人のことばかり言っていること ・(自分が棚の上にあること。) ・妹も悪いと思う ・兄は悪くないと思う。 ・兄は、妹の気持ちをもっと考えて、貸してあげればいいと思う。 ・妹は、兄の気持ちをもっと考えて、話せばよかったと思う 	<p>子供全体がおかしさに気づいて大騒ぎしたらやめる この答えが出ないとは思えないが、もし出ない場合は時間との兼ね合いで教師が提示してよい。</p> <p>意味を深めるためのきっかけになる問い</p> <p>考えさせ、上がる反応一つ一つ、板書する。 正解もそうでないもの、とにかく挙げさせる。</p> <p>実話の使い方はインパクトがある反面、当人のプライバシーにかかわるので扱いが難しい。名前をぼかすなど工夫して特定されないよう配慮し、皆が自分のこととして受け取れるように努めることが大切である。 他にも、悪口を言われたと言いつつ、実は自分も悪口を言っているなど、子供たちの生活に、その例は事欠かないと思う。 お互いが悪いことに気付かせたい。</p> <p>これらの答えは難しいと思うが、相手の気持ちを推察する大切さには気付かせたい。 出ない場合は時間との兼ね合いで教師が示す。</p>
2分	<p>自分が人に言うことやすることを自分がされたらどうなのかなと意識してみましょ イエス様が教えて下さると信じて取り組んでほしいと思います。 暗誦聖句</p>		<p>182号テキスト全体のテーマからの反映 主に信頼して行動する者を主は祝福することを強調したい。</p>